

2012 年度 人間科学部 学士入学試験

小論文 問題

<注意事項>

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙を開かないこと。
2. 試験開始の指示後、解答用紙の所定欄に、受験票を見て、受験番号および氏名を正確に記入すること。所定の欄以外に受験番号および氏名を書いてはならない。
3. 解答用紙に受験番号・氏名の記入がない場合は採点対象としない。
4. 解答にはHBの黒鉛筆またはシャープペンシルを使用すること。
5. 試験中に問題冊子および解答用紙の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁等があった際は、挙手で試験監督員に知らせること。
6. 字数制限がある設問は、算用数字やアルファベット、その他の記号を用いる場合も、解答欄1マスに1つ記入すること。
7. 問題冊子の余白等は適宜利用してよい。
8. いかなる場合でも、解答用紙、問題冊子および下書き用紙は必ず提出すること。

2012年度 人間科学部 学士入学試験問題

問題

次ページの表をもとにして、戦後の日本経済に関するレポートを日本語で作成せよ。字数は問わない（用紙が不足する場合には試験監督員にその旨申し出ること）。なお、採点に際しては、経済学的な分析の正確さよりも、適切な数量的把握に基づいた論理性を重視する。

レポートの作成に際しては、以下の要求項目のすべてを満たすこと。

1. 形式等は読み手に対して配慮したものであればとくに問わないが、伝えるべき内容にもっとも適したレポート形式を採用するよう心がけること。
2. 戦後の全体的な特徴については必ず触れ（全体的な特徴のみに注目して最後まで記述しても構わないし、それを踏まえた上である特定のテーマにしぼった論を展開してもよい）、示された表の内容を独自の表やグラフ等によって要約ないしは視覚化すること。
3. あなたの主張に適した具体的なレポートのタイトルを付与すること（長文のレポートになる場合には、適宜セクションに分け、小見出しを付けてもよい）。
4. レポートの後半部分には、あなたがこのレポートをさらに発展させるためには、示された表以外にどのような統計的データを活用するとよいと思うかについて述べること。

<次ページ 表につづく>

表. 日本の貿易額の時間的推移 (各年の輸出入総額の確定値であり、単位は千円)

暦年	輸出	輸入	暦年	輸出	輸入
1950	298,021,052	348,195,583	1982	34,432,500,947	32,656,302,574
1951	488,776,775	737,241,298	1983	34,909,268,599	30,014,784,056
1952	458,243,197	730,351,682	1984	40,325,293,701	32,321,126,640
1953	458,943,408	867,469,443	1985	41,955,659,471	31,084,935,207
1954	586,525,032	863,785,437	1986	35,289,713,887	21,550,717,070
1955	723,815,976	889,714,970	1987	33,315,191,383	21,736,912,673
1956	900,229,011	1,162,704,360	1988	33,939,183,158	24,006,319,859
1957	1,028,886,636	1,542,090,900	1989	37,822,534,626	28,978,572,581
1958	1,035,561,686	1,091,924,896	1990	41,456,939,674	33,855,207,638
1959	1,244,337,203	1,295,816,732	1991	42,359,892,974	31,900,153,522
1960	1,459,633,161	1,616,807,363	1992	43,012,281,444	29,527,419,360
1961	1,524,814,578	2,091,755,631	1993	40,202,448,725	26,826,357,239
1962	1,769,817,267	2,029,148,690	1994	40,497,552,697	28,104,327,343
1963	1,962,761,744	2,425,081,177	1995	41,530,895,121	31,548,753,881
1964	2,402,348,862	2,857,515,493	1996	44,731,311,206	37,993,421,106
1965	3,042,627,204	2,940,846,741	1997	50,937,991,859	40,956,182,573
1966	3,519,500,700	3,428,172,558	1998	50,645,003,938	36,653,647,183
1967	3,758,966,022	4,198,711,492	1999	47,547,556,241	35,268,008,063
1968	4,669,798,348	4,675,407,477	2000	51,654,197,760	40,938,422,968
1969	5,756,405,162	5,408,472,791	2001	48,979,244,311	42,415,533,002
1970	6,954,367,159	6,797,220,528	2002	52,108,955,735	42,227,505,945
1971	8,392,768,263	6,909,956,155	2003	54,548,350,172	44,362,023,352
1972	8,806,072,248	7,228,978,838	2004	61,169,979,094	49,216,636,346
1973	10,031,426,859	10,404,355,041	2005	65,656,544,157	56,949,392,181
1974	16,207,879,577	18,076,381,928	2006	75,246,173,392	67,344,293,072
1975	16,545,313,718	17,170,026,976	2007	83,931,437,612	73,135,920,427
1976	19,934,618,464	19,229,168,610	2008	81,018,087,607	78,954,749,926
1977	21,648,070,431	19,131,779,700	2009	54,170,614,088	51,499,377,779
1978	20,555,840,563	16,727,624,005	2010	67,399,626,696	60,764,956,840
1979	22,531,538,859	24,245,350,997			
1980	29,382,471,938	31,995,325,202			
1981	33,468,984,502	31,464,145,741			

財務省「貿易統計」による

<以下余白>